

疾病対策課

V 疾病対策課の業務概要

疾病対策課は、結核予防事業、感染症予防事業、エイズ対策事業、原爆被爆者対策事業等を主業務としている。また、感染症健康危機管理事業として、訓練や会議を通して地域の健康危機管理体制の整備、連携強化をはかっている。

1 結核予防事業

令和2年の結核患者の新登録患者数は83(前年99)人、罹患率(人口10万対)は10.1(前年12.1)であった。なお、肺結核のうち塗抹陽性患者の占める割合は48.3(前年46.7)%と増加した。(表1-(1)、(2))

感染症診査協議会への報告・諮問件数は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第18条に基づく就業制限通知が35(前年45)件、同法第19条及び第20条に基づく入院勧告が141(前年154)件、同法第37条の2に基づく医療費公費負担診査が185(前年235)件であった。(表1-(10)、(11))

DOTS(直接服薬確認療法)の強化を目的に、DOTS支援員の派遣、薬局DOTSの実施により個々の患者に対する服薬支援の向上に努めた。

平成19年4月に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)に結核予防法が統合され、結核は2類感染症とされたが、本事業年報では結核に関しては結核予防事業として、感染症予防事業に含めずに計上する。

2 感染症予防事業

令和2年は、感染症法に基づく1類・2類(結核は除く)感染症の発生はなく、3類感染症は19人(前年36人)、4類感染症は15人(前年21人)、5類感染症(全数把握対象分)の発生は105人(前年346人)、指定感染症は2,077人であった。

令和2年は新型コロナウイルス感染症の対応に終始し、4月には管内の介護老人保健施設で大規模なクラスターが発生した。当初は入院加療のできる医療機関が少なく施設療養を余儀なくされる状況であった。職員は初めての経験となる個人用防護具の着脱に戸惑いと疲労を感じていた。施設内療養者が増えることで、感染への恐怖を抱く職員が欠勤したため、一部の職員に過度の負担がかかるなど、介護事業を継続することが困難となった。このことから、管内の高齢者施設、障害者施設等における感染症の早期探知、施設内対応について研修の必要を関係者と共有した。例年実施している高齢者施設等へ向けた研修に代わるものとして、松戸市役所、高齢者施設、医療機関等と会議を重ね、YouTube動画を作成し県庁ホームページ上で提供した。

管内約200の事業所へ案内を配布し、延べ1,000回を超える再生回数を確認した。その後も施設調査等の際には、他機関資料とともに動画を活用し指導を行った。

感染性胃腸炎の施設内集団発生の現地調査・指導件数は8件(前年度26件)、相談対応件数は1件(前年度15件)であった。乳幼児施設・学校・高齢者

施設等で発生し、検便等疫学調査及び感染拡大防止について継続支援をした。
(表2-(7)-オ)

平常時対策として例年は医療機関の立入検査、介護老人保健施設の実地指導の際等に、施設内感染対策の視点から助言・指導を実施していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行のため、医療機関立ち入り検査は書面にて実施した。介護老人保健施設の実地指導は中止となった。例年は高齢者施設や乳幼児施設に対しても研修会を開催し、施設内感染症対策の周知を図っているが、今年度は新型コロナウイルス感染症の流行のため、集合にて研修会を開催することができなかった。

感染症情報の迅速な共有と関係機関の連携強化のため、平成24年8月から『松戸保健所感染症情報ネットワークシステム』を運用し、感染症発生状況、法改正の情報等を発信している。

感染症健康危機管理事業としては、事案の発生に備え、管内関係各機関と情報交換会を開催し連絡体制を確認し連携強化を図っていたところ、本年度は訓練を実際のものとする事となり、円滑な搬送、入院について連携ができた。

所内では、患者発生時に備えて必要物品や所内体制を確認し、新規採用者、搬送担当者を対象に、防護服着脱訓練、N95マスクフィットテストを実施した。

3 エイズ対策事業

HIV検査は即日検査(日中)及び夜間検査で実施し、同時に梅毒・クラミジア・淋菌検査、肝炎対策事業として肝炎検査を実施している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。(表3-(3))。

エイズ予防啓発事業としては、管内小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の保健主事及び、養護教諭、保健体育教諭等を対象として、例年講習会を開催しているが、令和2年度は中止した。

4 原爆被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、被爆者手帳交付者に対し各種手当を支給した。また、被爆者の定期健康診断は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は中止した。

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

年		平成 12年	平成 17年	平成 22年	平成 27年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
区分								
管内人口		464,836	472,054	782,680	789,308	810,950	817,672	822,344
新登録患者数		133	113	146	96	95	99	83
年末時登録者数		285	340	375	242	247	237	205
結核死亡者数	管内	2	4	7	3	3	2	7
	千葉県	81	88	71	68	82	62	68
結核死亡率 (人口10万対)	管内	0.4	0.8	0.9	0.4	0.4	0.2	0.9
	千葉県	1.6	1.7	1.3	1.3	1.6	1.2	1.3
罹患率 (人口10万対)	管内	28.6	23.9	18.7	12.2	11.7	12.1	10.1
	千葉県	24.3	22.5	17.0	13.7	12.0	11.1	9.8
有病率 (人口10万対)	管内	32.3	18.4	12.8	9.1	6.7	8.7	7.2
	千葉県	27.0	17.2	11.9	9.0	7.7	6.9	6.0

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③平成19年以前のデータは、管轄区域：松戸市のみ。

④新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

⑤罹患率：新登録活動性結核患者数×10万 /人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万 /人口

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	活動性結核							罹患者 (人口10万対) 率	肺結核の うち 陽性の割合 (%)	無症状病原体保有者 (潜在性結核感染症)	疑似症患者	結核死亡者 の体	結核死亡疑い者 の体
	総 数	活動性肺結核					肺活 外動 結核性						
		計	陽性 性	喀痰 塗抹 性	結核菌 陽性 性	その他 の性							
平成30年	95	73	23	32	18	22	11.7	31.7	67	-	-	-	
令和元年	99	75	35	29	11	24	12.1	46.7	54	-	-	-	
令和2年	83	60	29	19	12	23	10.1	48.3	45	-	1	-	
(うち外国籍)	(11)	(8)	(2)	(3)	(3)	(2)	(1.3)	(25.0)	(8)	(-)	(-)	(-)	
松戸市	51	35	17	11	7	16	10.3	48.6	26	-	1	-	
流山市	16	13	6	4	3	3	8.0	46.2	9	-	-	-	
我孫子市	16	12	6	4	2	4	12.3	50.0	10	-	-	-	

(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	総 数	活動性結核					不 活 動 性 結 核	不 明	(有 病 率 (人口10万対) 率	無症状病原体保有者 (潜在性結核感染症) (別掲)	
		計	活動性肺結核			肺活 外動 結核性				治療中	観察中
			陽性 性	登録 時	その他 の性						
平成30年	247	54	14	15	14	11	183	10	6.7	40	110
令和元年	237	71	23	20	9	19	139	27	8.7	47	103
令和2年	205	59	19	12	8	20	112	34	7.2	41	69
松戸市	133	32	9	6	5	12	73	28	6.5	31	43
流山市	40	14	4	4	2	4	22	4	7.0	3	17
我孫子市	32	13	6	2	1	4	17	2	10.0	7	9

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表1 - (4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以 上
平成30年		95	-	-	11	8	3	13	11	19	18	12
令和元年		99	-	1	13	2	6	10	4	25	28	10
令和2年		83	-	-	10	6	10	5	5	17	21	9
(うち外国籍)		(11)	(-)	(-)	(4)	(3)	(4)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
松戸市		51	-	-	6	4	6	4	2	10	15	4
流山市		16	-	-	2	2	2	1	-	2	3	4
我孫子市		16	-	-	2	-	2	-	3	5	3	1

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表1 - (5) 年末時登録者数(年齢階級別)

(単位:人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以 上
平成30年		247	-	-	29	21	29	30	32	43	43	20
令和元年		237	-	1	29	18	20	32	24	44	52	17
令和2年		205	-	-	24	16	19	25	18	43	46	14
松戸市		133	-	-	19	9	14	16	11	26	30	8
流山市		40	-	-	3	5	2	7	3	7	9	4
我孫子市		32	-	-	2	2	3	2	4	10	7	2

(6) 患者面接実施状況

表1- (6) 患者面接実施状況

年		区分	人数 (人)	DOTS 内容 (延件数)														
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性				潜在性結核				
				入院時			退院後			訪問 面接	所内 面接	電話・ その他	薬 局	訪問 面接	所内 面接	電話・ その他	薬 局	
				訪問 回数	左の内訳		訪問 面接	所内 面接	電話・ その他									薬 局
初 回	期 間 内	退 院 前																
平成30年	保健師	3	144	31	89	24	117	116	144	-	53	142	178	-	22	66	30	-
	DOTS 支援員	5	-	-	-	-	40	1	70	-	40	1	70	-	30	-	80	-
	薬局	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	71	-
令和元年	保健師	3	176	45	100	31	252	106	502	-	92	103	262	-	8	65	313	-
	DOTS 支援員	4	-	-	-	-	40	-	-	-	20	-	-	-	5	-	-	-
	薬局	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	-	-	-	4	-
令和2年	保健師	3	29	29	-	-	75	60	1,247	-	44	45	1,559	-	12	20	313	-
	DOTS 支援員	3	-	-	-	-	39	-	20	-	66	-	15	-	5	-	10	-
	薬局	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	12	-
令和2年 患者数 (人)			29						54				44					

※潜在性結核の患者数は、内服治療を希望しなかった登録者を除く

(7) DOTS実施状況

表1- (7) DOTS実施状況

(単位:人)

年		区分	全 結 核 患 者			潜在性結核 感 染 症
				肺結核患者 (再掲)		
				肺結核患者 (再掲)	肺結核喀痰 塗抹陽性患者 (再掲)	
平成30年	実施者数	81	71	20	85	
	患者数※	81	71	20	85	
令和元年	実施者数	95	80	43	53	
	患者数※	95	80	43	53	
令和2年	実施者数	83	61	33	43	
	患者数※	83	61	33	43	

※前年の新登録患者数 (転入者を含み、治療開始1ヶ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について (情報提供) を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1-(8)-ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成30年	75	72	96.0	212	83	2	127	-	-	99	3	12	2	1.7
令和元年	117	113	96.6	196	132	5	55	2	2	104	-	7	2	1.8
令和2年	113	104	92.0	153	110	-	43	-	-	96	-	7	1	1.0
保健所	/			46	37	-	9	-	-	/				
委託分				106	73	-	33	-	-					
その他				1	-	-	1	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

イ 接触者健診実施状況

表1-(8)-イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成30年	485	459	94.6	668	348	7	313	-	-	425	5	29	-	-
令和元年	733	661	90.2	916	562	12	342	-	-	632	6	21	2	0.3
令和2年	726	627	86.4	743	517	2	216	4	4	618	-	9	-	-
保健所	/			448	312	-	136	-	-	/				
委託分				292	203	2	79	4	4					
その他				3	2	-	1	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

(9) 管理検診実施状況

表1-(9) 管理検診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施 率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エ ッ ク ス 線 撮 影	喀痰検査		結果 (実人数)			
						塗 抹	培 養	観 察 不 要	経 過 観 察	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
平成30年	335	311	92.8	549	484	33	32	285	21	5	1.6
令和元年	345	297	86.1	521	463	29	29	270	27	-	-
令和2年	280	233	83.2	399	372	13	14	191	42	-	-
保健所	/			82	82	-	-	/			
委託分				256	229	13	14				
その他				61	61	-	-				

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総 数			被用者保険						国民健康 保 険			後期高齢者			生活保護法			そ の 他		
				本 人			家 族			諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格
	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格	諮 問	合 格	不 合 格												
平成30年	188	188	-	57	57	-	8	8	-	49	49	-	62	62	-	11	11	-	1	1	-
令和元年	235	233	2	69	67	2	15	15	-	51	51	-	85	85	-	14	14	-	1	1	-
令和2年	185	182	3	47	46	1	13	12	1	45	45	-	69	68	1	10	10	-	1	1	-

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総 数	被用者保険			国民健康 保 険			後期高齢者			生活保護法			そ の 他		
		本 人	家 族		保 険											
平成30年	38	5	1	6	18	7	1									
令和元年	52	10	-	8	29	5	-									
令和2年	39	5	-	8	24	1	1									

※本表は実人数で計上

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分 年	総数
平成30年	38
令和元年	45
令和2年	35

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長通知数 (20条第4項)
平成30年	35	33	45
令和元年	44	43	67
令和2年	35	35	71

表1-(11)-ウ 入院措置数

(単位:件)

区分 年	入院措置数
平成30年	—
令和元年	—
令和2年	—

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位:件)

年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm未満	30mm以上	未就学児	小学生	その他
平成30年	-	7	7	-	-	7	-	-
令和元年	-	17	17	-	-	17	-	-
令和2年	-	2	-	2	-	2	-	-

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位:件)

年	IGRA検査数(延件数)		結果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
平成30年	238	164	354	12	35	1
令和元年	238	454	629	9	53	1
令和2年	349	276	591	2	32	-

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況

(単位:件)

年	総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成30年	284	246	179	151	105	95
令和元年	259	357	164	173	95	184
令和2年	227	341	145	112	82	229

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1 - (14) 定期結核健康診断実施報告状況

年 区分	項目		対象者数 ①	健診者数 ②	健診率 ②/① (%)	間接撮影 件数	直接撮影 件数	喀痰検査 件数	発病のおそれ がある者の 数	患者発見 数③	患者発見 率 ③/② (%)
平成30年			253,222	85,226	33.7	7,017	78,209	20	3	1	0.001
令和元年			257,121	87,393	34.0	5,983	81,410	15	2	2	0.002
令和2年			250,855	73,253	29.2	5,084	68,187	1	-	1	0.001
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)		10,834	9,479	87.5	2,364	7,133	1	-	1	0.017
	施設 長	福祉施設入所者 (65歳以上)	2,788	2,748	98.6	368	2,380	-	-	-	-
		その他施設 入所者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業者		22,707	21,495	94.7	2,352	19,143	-	-	-	-
	市町村長		214,526	39,531	18.4	-	39,531	-	-	-	-

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2-(1) 1類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
令和2年	—	—	—

(2) 2類感染症発生状況 (結核は除く)

表2-(2) 2類感染症発生状況 (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
令和2年	—	—	—

(3) 3類感染症発生状況

表2-(3) 3類感染症発生状況 (単位:人)

病類 年・市町村	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性	腸チフス	パラチフス
				大腸菌 感染症		
平成30年	23	—	2	20	1	—
令和元年	36	—	—	36	—	—
令和2年	19	—	—	18	1	—
松戸市	14	—	—	13	1	—
流山市	1	—	—	1	—	—
我孫子市	2	—	—	2	—	—
その他 (管外)	2	—	—	2	—	—

(4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症発生状況

(単位：人)

疾患名		平成30年	令和元年	令和2年
1	E型肝炎	2	3	1
2	ウエストナイル熱	-	-	-
3	A型肝炎	1	1	-
4	エキノコックス症	-	-	-
5	黄熱	-	-	-
6	オウム病	-	-	-
7	オムスク出血熱	-	-	-
8	回帰熱	-	-	-
9	キャサヌル森林病	-	-	-
10	Q熱	-	-	-
11	狂犬病	-	-	-
12	コクシジオイデス症	-	-	-
13	サル痘	-	-	-
14	ジカウイルス感染症	-	-	-
15	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフ レボウイルス属SFTSウイルスであ るものに限る。)	-	-	-
16	腎症候性出血熱	-	-	-
17	西部ウマ脳炎	-	-	-
18	ダニ媒介脳炎	-	-	-
19	炭疽	-	-	-
20	チグングニア熱	-	-	-
21	つつが虫病	-	-	-
22	デング熱	-	2	2
23	東部ウマ脳炎	-	-	-
24	鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9)を除く)	-	-	-
25	ニパウイルス感染症	-	-	-
26	日本紅斑熱	-	-	-
27	日本脳炎	-	-	-
28	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29	Bウイルス病	-	-	-
30	鼻疽	-	-	-
31	ブルセラ症	-	-	-
32	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34	発しんチフス	-	-	-
35	ボツリヌス症	-	1	-
36	マラリア	-	-	-
37	野兎病	-	-	-
38	ライム病	-	-	-
39	リッサウイルス感染症	-	-	-
40	リフトバレー熱	-	-	-
41	類鼻疽	-	-	-
42	レジオネラ症	18	14	12
43	レプトスピラ症	-	-	-
44	ロッキー山紅斑熱	-	-	-

※14の疾患は平成28年2月より届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況

(単位：人)

疾患名		平成30年	令和元年	令和2年
1	アメーバ赤痢	12	7	7
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	-	2	1
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6	7	13
4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	2	-	-
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	27	25	13
6	クリプトスポリジウム症	-	-	-
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	-
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	5	4
9	後天性免疫不全症候群	20	8	4
10	ジアルジア症	-	-	-
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4	3	4
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	1	-
13	侵襲性肺炎球菌感染症	26	24	7
14	水痘(入院例に限る。)	5	4	4
15	先天性風しん症候群	-	-	-
16	梅毒	27	30	25
17	播種性クリプトコックス症	1	-	-
18	破傷風	-	1	-
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	1
21	百日咳	73	206	26
22	風しん	71	23	1
23	麻しん	19	-	-
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

※ 4の疾患は平成30年5月1日より届出の対象となった。

※21の疾患は平成30年1月1日より届出の対象となった。

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数

(単位：箇所)

インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症	基幹	疑似症
25	16	5	6	1	43

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況

(単位：人)

	疾患名	平成30年	令和元年	令和2年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	12,148	13,143	3,765
2	RSウイルス感染症	445	562	25
3	咽頭結膜熱	605	262	94
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2,900	3,222	2,582
5	感染性胃腸炎	3,617	4,597	2,024
6	水痘	368	354	214
7	手足口病	451	2,646	56
8	伝染性紅斑	490	489	67
9	突発性発しん	378	374	304
10	百日咳	報告対象外	報告対象外	報告対象外
11	ヘルパンギーナ	557	416	15
12	流行性耳下腺炎	72	45	41
13	急性出血性結膜炎	3	-	1
14	流行性角結膜炎	156	63	35
15	性器クラミジア感染症	139	113	56
16	性器ヘルペスウイルス感染症	68	80	24
17	尖圭コンジローマ	36	24	12
18	淋菌感染症	19	24	15
19	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	1	8	-
20	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-
21	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	2	5	6
22	マイコプラズマ肺炎	17	84	27
23	無菌性髄膜炎	11	2	-
24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5	-	-
25	メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染	51	71	24
26	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-

※「10 百日咳」は5類感染症の定点把握疾患であったが、平成30年1月1日から5類の全数把握疾患となったため、平成30年以降は「報告対象外」と記載した。

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	3	1	-	1
検体提供数 (件)	-	-	-	-

(6) 指定感染症発生状況

表 2 - (6) 指定感染症発生状況 (発生届受理数) (単位: 人)

年	疾 患 名	人 数
令和 2 年	新型コロナウイルス感染症	2,077

(7) その他

表 2 - (7) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位: 件)

年度 区分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
			学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
平成 30 年度	189	2,932	162	27	-	-
令和元年度	171	2,450	152	17	2	-
令和 2 年度	-	-	-	-	-	-
幼 稚 園	-	-	-	-	-	-
小 中 学 校	-	-	-	-	-	-
高 等 学 校	-	-	-	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-

(8) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表2-(8)-ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度	病類	疾患名	調査(人)		検査(件)	
令和2年度		-	-	-	-	-

イ 2類感染症

表2-(8)-イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況(結核は除く)

年度	病類	疾患名	調査(人)		検査(件)	
令和2年度		-	-	-	-	-

ウ 3類感染症

表2-(8)-ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位:調査(人),検便(件))

年度	病類		総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便			
平成30年度	23	115	-	-	-	-	22	109	1	6	-	-	18		
令和元年度	38	161	-	-	-	-	37	159	1	2	-	-	19		
令和2年度	16	63	1	1	-	-	15	60	-	2	-	-	2		

エ 4類感染症

表2-(8)-エ 4類感染症健康調査状況 (単位：人)

区 分	疾 患 名	調 査
令和2年度	レジオネラ症	14

オ 5類感染症

表2-(8)-オ 5類感染症健康調査状況 (単位：件)

区 分	疾 患 名	調 査
令和2年度	感染性胃腸炎	調査 8 ・相談対応 1
	インフルエンザ	-

カ 指定感染症

表2-(8)-カ 指定感染症健康調査状況 (単位：件)

区 分	疾 患 名	調 査
令和2年度	新型コロナウイルス感染症	4,301

(9) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-(9) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査(人))

区分 年度	総 数	管外での感染症 発生に伴う調査数 (検疫通報除く)	自主申告による 調査数	検疫通報に伴う 接触者及び同行者 調査数	検便実施者数 (件)	検 出 菌			
						コレ ラ	赤 痢	○ 157	そ の 他
平成30年度	5	5	-	-	10	-	-	-	-
令和元年度	4	4	-	-	131	-	-	-	12
令和2年度	7	7	-	-	7	-	-	-	-

(10) 衛生研究所への確認検査依頼数

表2-(10) 衛生研究所への確認検査依頼数 (単位：件)

区分	疾患名	依頼数	内訳
区分	麻しん風しん疑い	7	麻しん疑い 4 風しん疑い 1 麻しん風しん疑い 2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	6	
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	7	
	急性脳炎	8	
	SFTS、日本紅斑熱疑い	1	陰性

(11) 就業制限・入院勧告通知数（結核を除く）

表2-(11)-ア 就業制限通知数

(単位：件)

年度	区分	疾患名				計
		細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌感染症	腸チフス	新型コロナ ウイルス感染症	
平成30年度		-	22	1	-	23
令和元年度		-	38	1	13	52
令和2年度		-	15	-	4,301	4,316

表2-(11)-イ 入院勧告通知数

(単位：件)

年度	区分	疾患名	計
		新型コロナウイルス感染症	
平成30年度		-	-
令和元年度		13	13
令和2年度		1,479	1,479

(12) 感染症予防啓発活動実施状況

ア 感染症予防対策研修会実施状況

表2-(12)-ア 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実 施 対 象	参加人数 (人)
令和2年 6月20日	県庁 ホーム ページ	感染症予防対策研修会 (高齢者施設)	管内高齢者福祉施設等の職員 (通所介護事業所・通所リハビリ事業所・短期入所生活介護事業所・介護老人福祉施設・介護老人保健施設・小規模多機能型居宅介護事業所、グループホーム・有料老人ホーム等) 市担当職員	1,000
令和2年 5月3日	千葉愛 友会記 念病院	防護服着脱訓練	流山市、千葉愛友会記念病院	26

イ 流山市保育課は、流山市内の保育所における感染対策のレベルアップを目的とする流山市保育所感染対策事業の一環として、「N-NICT（流山市保育所感染制御チーム）」を平成29年10月5日に立ち上げた。保健所としては、N-NICT立ち上げに際し、研修会を実施し、感染対策に関する助言・指導を行った。立ち上げ後には、感染症マニュアル作成の手引きの改訂に伴う助言等を行い、流山市内の保育施設の感染対策の向上に向け支援している。

ウ 院内感染対策に関する指導

医療施設立入検査（書類検査）33（病院 33）施設の際に、院内感染のための指針や院内感染対策委員会の設置、研修会の実施、院内感染対策マニュアルの整備等に関し院内感染対策の視点から検査・指導を実施した。

エ 社会福祉施設・学校等への感染対策の指導

介護老人保健施設施設に対し、例年であれば監査指導課に随行し、感染症対策に関して実地指導を行うが、新型コロナウイルス感染症の流行のため、中止した。また、感染症発生時には、随時疫学調査及び感染拡大防止策のための指導を実施した。

オ 松戸保健所感染症情報ネットワークシステム

管内における感染症情報の迅速な共有を図るとともに、松戸保健所（松戸健康福祉センター）と、関係機関の連携強化を図るため『松戸保健所感染症情報ネットワークシステム』を構築し、平成24年8月より運用を開始した。ネットワークシステム登録者（医師会・医療機関・歯科医師会・歯科医院・薬剤師会・薬局・市・教育委員会・学校・社会福祉施設等の関係機関等）に対し、感染症に関する情報を月1回定期的に一斉配信、また、必要に応じ随時、臨時で配信している。当初の登録機関は125件であったが、周知啓発により令和2年度末には約700件の登録となった。令和2年度の感染症情報配信は、新型コロナウイルス感染症の流行により臨時配信1回となった。

表2-(12)-オ 感染症情報 臨時配信状況

配信日	内容
令和3年3月31日	新型コロナウイルス感染症について

(13) 感染症健康危機管理事業

ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会

表2-(13)-ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会開催状況

開催月日	出席者数	主な協議内容
-	-	-

イ 新型インフルエンザ等訓練、その他会議

表2-(13)-イ 新型インフルエンザ等訓練、その他会議実施状況

開催月日	参加者数	内容
-	-	-

ウ 所内における感染症健康危機管理に関する研修会・訓練

表2-(13)-ウ 所内研修会・訓練実施状況

実施日	場所	テーマ	参加人数 (人)
令和2年 6月8日 6月9日 6月10日	東葛合同 庁舎第2 会議室	感染症についての講話 N95マスクのフィットテスト 防護服等着脱訓練	32人

3 エイズ対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表 3 - (1) - ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数 (人)
令和 2 年度			新型コロナウイルス感染症 拡大防止の観点から中止		

イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表 3 - (1) - イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
—	—

(2) エイズ相談受付状況

表 3 - (2) エイズ相談受付状況 (単位：件)

年度	性別	相談方法	男	女	小計	合計
平成 30 年度	電話相談		32	20	52	72
	来所相談		14	6	20	
	その他		-	-	-	
令和 元 年 度	電話相談		27	40	67	124
	来所相談		32	25	57	
	その他		-	-	-	
令和 2 年 度	電話相談		128	110	238	243
	来所相談		4	1	5	
	その他		-	-	-	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況 (単位:件)

年度 年齢階級		性別		合計	外国籍 者数(人)	確認検査 件数
		男	女			
平成30年度		229	98	327	6	7
令和元年度		173	99	272	3	-
令和2年度		-	-	-	-	-
年 齡 階 級	～19歳	-	-	-	-	-
	20歳～29歳	-	-	-	-	-
	30歳～39歳	-	-	-	-	-
	40歳～49歳	-	-	-	-	-
	50歳～59歳	-	-	-	-	-
	60歳～69歳	-	-	-	-	-
	70歳～	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。

表3-(3)-イ 性感染症・肝炎検査受付状況 (単位：件)

検査 性別 年度	クラミジア 検査			梅毒検査			淋病検査			肝炎検査					
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	C型肝炎検査			B型肝炎検査		
										計	男	女	計	男	女
平成 30年度	278	201	77	329	230	99	-	-	-	334	234	100	334	234	100
令和 元年度	241	154	87	269	171	98	-	-	-	274	175	99	273	174	99
令和 2年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施。淋菌検査は、令和2年度より追加。

4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表4- (1) 被爆者手帳交付状況 (単位：件)

年度 市町村	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
平成30年度	300	-	5	4	10	291
令和元年度	291	-	2	2	20	271
令和2年度	271	-	5	-	8	268
松戸市	163	-	3	-	5	161
流山市	67	-	-	-	1	66
我孫子市	41	-	2	-	2	41

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表4- (2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年度	施設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
平成30年度	保健所	前期	304	21	6.9	2
		後期	295	13	4.4	-
	委託医療機関		-	103	-	51
令和元年度	保健所	前期	290	15	5.2	1
		後期	285	14	4.9	-
	委託医療機関		-	76	-	51
令和2年度	保健所	前期	-	-	-	-
		後期	-	-	-	-
	委託医療機関		-	21	-	6

※令和2年度 保健所の健康診断は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分 \ 年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総数	252	238	229
医療特別手当	12	11	11
特別手当	7	7	7
原子爆弾小頭症手当	-	-	-
健康管理手当	207	191	188
保健手当	15	13	13
介護手当	2	2	1
葬祭料	9	14	9
健康手当	226	209	206

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。